原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

豊川テキスタイル株式会社

銘柄コード	
法人番号	41830301010404

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	11	繊維工業
細分類 (申請事業)	1115	化学繊維紡績業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	28,797	GJ	743.00	kℓ
前年度エネルギー総使用量		GJ		kℓ
非化石エネルギー総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス排出量	t-CO_2			

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)			原単位分母			
	主たる事業の構成割合					%
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)						

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)			原単位分母		
DR実施日数					
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【温暖化ガス排出量の算定に用いた調整排出削減量等の量】

種別	合計量
Jクレジット	t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	50.0%				
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
					0.0
目安設定業種					
目安(2030年度)	(指標)非化石化に向けた2030年度の中部電力ミライズの目標値				
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目安設定業種	-	-			
目安(2030年度)	-				
	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

一部ラインで使用していたギアモーターにインバーターを取り付けました。1.5kwのギアモーター、に相応のインバーターを取り付けています。負荷0.7kwくらいになっています。取りあえず2台のみですが徐々に台数を増やしていく予定です。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

工場内冷房用に井戸の2本目(2か所目)を掘削しました。地下水の温度は26℃ほどで安定しており、くみ上げ量は計量していないものの旧来より使用してきた電力によるチリングシステムからの供給が25℃くらいであることより効果は上がっていると考えています。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(注意事項)
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

原単位の改善のための取組に関する状況 【2026年度提出分(2025年度実績)】※非特定事業者用

豊川テキスタイル株式会社

認証コード	
法人番号	4183030101040

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	11	繊維工業
細分類 (申請事業)	1115	化学繊維紡績業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	27,377 GJ	705	kℓ
前年度エネルギー総使用量			kℓ
非化石エネルギー総使用量	GJ		kℓ
調整後温室効果ガス排出量		$t\text{-}CO_2$	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注(2025年度実績)		原単位分母				
	主たる事業の構成割合					%
事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)						

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量
Jクレジット	t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位(2025年度実績)		原単位分母				
DR実施日数						
事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
事業者全体の5年度間平均原単位変化						

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	50.0%				
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					0.0
目安設定業種					
目安(2030年度)	(目標)非化石化に向けた取り組みによる2030年度における中部電力ミライズの目標値				
	50%				
目標(2030年度)	50.0%				
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目安設定業種	-	-			
目安(2030年度)	-				
	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					-

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kl/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kl/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

水冷の冷凍機を夏場の7～9月は運転していましたが本年度は下記井戸水の使用で停止し90kwh1/j時ほど節電しました。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

弊社では動力の100%を中部電力ミライズに依存しています。電力ではなく井戸水で場内の気温と湿度を調整すべく昨年に続き2本目の井戸を掘って本年の夏場の対策としました。地下水は26℃程で安定していましたので補給が可能な水量を全てこれに充てています。自動発停のうえ水量計等は設けていませんのでくみ上げ量は不明ですが。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(注意事項)
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。